

神戸市下水道事業経営計画(案)【概要版】

1. 神戸市下水道事業経営計画とは

神戸市下水道事業経営計画とは、長期計画基本構想「こうべ下水道みらい2025」の実実施計画である「こうべアクアプラン2020」(平成28年度～令和2年度)を承継し、10年間(令和2年度～令和11年度)の公共下水道事業経営における基本方針や目標などを取りまとめた計画である。

公営企業においては、将来にわたってサービスの提供を安定的に継続することが可能となるように、総務省から計画期間10年以上を基本とする経営戦略の策定を要請されている。本市は本計画を経営戦略として総務省に提出する。

2. 策定の背景

本市は、昭和26年に下水道事業に着手し、下水道整備を進めてきた結果、下水道人口普及率は98.7%に達し、下水道の基本的な役割の一つである生活環境の改善を概ね達成しました。

しかし、昭和40年代に集中的に整備した管きょや処理場などの施設の老朽化が課題となっており、これらの施設の維持管理、計画的な改築更新をこれまで以上に推進していかなければならない。

加えて、台風や突発的な集中豪雨による浸水被害への対応、大規模地震発生時における下水道の機能確保、循環型社会の構築や低炭素社会の実現など下水道に求められる役割は一層高まっている。

今後、安定した下水道サービスを持続的に提供するために、令和2年度からの10年間の基本方針や目標などを取りまとめる必要がある。

3. 計画の概要

(1) 計画期間

令和2年度(2020年度)～令和11年度(2029年度) 【10年間】

(2) 建設改良費

年間 210億円～220億円 程度

(3) 基本方針

- ① 快適な市民生活と社会活動を支えます
- ② 災害に備える安全・安心なまちづくりを進めます
- ③ 良好な水環境と循環型社会の実現に貢献します
- ④ 下水道の見える化に取り組みます
- ⑤ 安定した下水道サービスを提供します

4. 基本方針と主な施策

基本方針① 快適な市民生活と社会活動を支えます

市民生活や社会活動を不自由なく行うことができるよう、汚水処理を確実にを行います。

(主な施策)

- ・ストックマネジメント計画の策定と運用
- ・管きよ・処理施設の適切な維持管理、改築更新
- ・汚水処理システムの再編

基本方針② 災害に備える安全・安心なまちづくりを進めます

地震や津波、台風などによる災害への対策により、安全・安心なまちづくりを推進します。

(主な施策)

- ・下水道施設の耐震・耐水化
- ・浸水対策（施設整備、情報発信の充実）
- ・危機管理体制の構築

基本方針③ 良好な水環境と循環型社会の実現に貢献します

下水処理の過程で自然環境へ排出される環境負荷を低減し、下水道における資源の有効利用を推進することにより、神戸のまちづくりに貢献します。

(主な施策)

- ・良好な水環境の実現（事業場への水質指導、処理場の適正な水質管理）
- ・循環型社会の実現（下水道資源の有効利用、地球温暖化対策の推進）

基本方針④ 下水道の見える化に取り組みます

日頃、目にすることが少ない下水道を知ってもらう取組や機会を設けます。

(主な施策)

- ・身近に感じる下水道
(体験する・学べる広報、市民との協働による広報、多角的な情報発信)
- ・地域に貢献する下水道
(下水道用地の利活用、地元企業等との連携による国際協力事業の推進)

基本方針⑤ 安定した下水道サービスを提供します

経営改善により自立経営に取り組み、安定した下水道サービスを提供します。

(経営指標と目標)

- ・単年度収支の均衡
- ・経費回収率を100%以上

5. 管理指標と目標

管理指標	具体的な内容	目標 (R2～R11)
管きよの点検・調査延長		
汚水管きよ	目視点検・カメラ調査などの実施	700km
雨水管きよ		400km
汚水管きよの改築延長	管更生工法などによる改築の実施	450km
処理場の改築更新		
ポートアイランド処理場 西部処理場（北系） 垂水処理場（東系）	施設の建設、設備の設置など	供用開始

管理指標	具体的な内容	目標 (R2～R11)
優先的に実施すべき管きよの耐震化		
汚水管きよ	災害時における拠点施設の下流等	38km
雨水管きよ	緊急輸送路（国道）の横断部	45箇所
地震時における最低限の機能確保※ ※耐震性の確保、一部系列での確保を含む。		
処理場	揚排水・簡易沈殿 ・消毒機能の確保 〔汚水・雨水ポンプ場は 揚排水機能の確保〕	3箇所
汚水ポンプ場		3箇所
雨水ポンプ場 (合流ポンプ場含む)		6箇所
浸水対策エリアにおける 家屋被害の解消	継続的な事業実施による 床上・床下浸水の解消	6地区
現在よりも雨水排水能力を 向上させるポンプ場	現在の設計基準を適用した ポンプの改築更新	4箇所

管理指標	具体的な内容	目標 (R2～R11)
単年度収支	単年度収支の均衡	
経費回収率	経費回収率 100%以上の確保	平均 100%以上

6. スケジュール(予定)

令和元年度

- ・ 12月2日～1月10日 市民意見の募集
- ・ 令和元年度内 計画策定（予定）